

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-1-108

補助事業名 平成24年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 東京フィルメックス実行委員会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

近年映画を取り巻く環境は均一化し、質的に乏しい状況に陥り、秀作を配給する中小事業者が多く廃業した。当会では「作家性」という価値にこだわり、創造性溢れるアジアの映画作家の作品を集めたコンペを通じ、育成を促進し、同時に観客にも目を向け、若年層観客の創出・弱者への環境整備に取組み、新たな鑑賞者開発を進め、民間事業者で担えない面をNPOとして補完する

(2) 実施内容

アジア映画のコンペティション、「第13回東京フィルメックス」の開催

(<http://filmex.net/2012/>)

創造性溢れアジアの文化の多様性の一端が窺える作家による9作品を選定し、コンペティションで上映した。事業者に反応を見極める機会を提供し、併せてベテランの作品や日本の古典も上映。創造者と受容者の双方への映画の歴史の重要性を植え付ける。受容では、子どもに映画館という異空間を体験し、習慣付けの機会を与える。また学生審査員の特別な立場で映画祭を体験させ、批評眼を養わせる。







2 予想される事業実施効果

■ 上映作品その後の展開

・ 日本映画

コンペ上映作のうち「おだやかな日常」（内田伸輝監督）が1月のロッテルダム国際映画祭へ発信された。また、特集上映で取り上げた木下恵介監督作品は2月のベルリン国際映画祭フォーラム部門、3月の香港映画祭へ発信された。

・ 外国映画作品

映画祭上映後、特別招待作品「サイの季節」の配給が決まるほか、コンペ受賞等には映画祭での反応をみた映画事業者による問い合わせが相次いでいる。また「3人のアンヌ」「嘆きのピエタ」「三姉妹」「ひろしま 石内都・遺されたものたち」「ギマランイス歴史地区」が平成25年度の公開が予定されている。

・ 過去の上映作品

また昨年上映の作品では、特別招待作品であった「ニーチェの馬」（タル・ベーラ監督）が昨年2月に公開されたが、昨年度のキネマ旬報ベストテンで外国映画作品第1位、ベストワンに輝いた。

■（継続） 学生自治主体との協働、教育機関との連携

過去数年実施している子どもへの取組み、大学との連携を引き続き、実施した。多摩美術大学による団体鑑賞を継続した。また過去に課外授業で受け入れた日本大学芸術学部は学生が主体となって、平成24年12月に映画館を借りて独自の上映

会をプログラムする成果も生んだ。また今年は学生によるサークル東京学生映画祭により「学生審査員賞」も継続した。「あたしは世界なんかじゃないから」が受賞。こうした連携を通じて、若い学生による主体的な映画や芸術、ひいては社会的な取り組みへの参加を望んでいる。

■（継続） バリアフリーの取り組み

過去に貴会からはヒアリング等を通じて、また他のステークホルダーから本事業における「映画の社会的な取り組み」についてご意見を踏まえ、昨年より開始した聴覚障がい者向けのバリアフリー上映を今年も継続した。作られた素材の有効活用を働きかける。

3 本事業により作成した印刷物等

第13回東京フィルメックス ポスター 500枚



第13回東京フィルメックス チラシ 40,000枚

http://filmex.net/2012/filmex2012_forpreview.pdf



第13回

東京フィルメックス リーフレット 10,000部

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人東京フィルメックス実行委員会（トクテイヒエイ
リカツドウホウジントウキョウフィルメックスジッコウイインカイ）

住 所： 107-0052

東京都港区赤坂5-4-14 トレード赤坂ビル3F

代 表 者： 理事長 森 昌行（リジチョウ モリ マサユキ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 金谷 重朗（カナヤ シゲオ）

電 話 番 号： 03-3560-6393

F A X： 03-3586-0201

E - m a i l： canalla@filmex.net

U R L： <http://filmex.net/>